

## 景観シミュレーション自己評価書

シミュレーションの距離帯		評価基準(考え方)	評価対象	基準のチェック	評価基準に対するコメント
遠景	<p>●背景との関係が読み取れる距離</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">位置・規模を評価</p> <p>(目安 1)1,000m程度 2)最大寸法20倍)</p> <p>(例)高さ50mの場合 距離1,000m程度</p>	<p>●大景観と調和しているか(地域の景観の特徴との関係)。</p> <p>・景観形成基準や広域景観形成基準がある場合、景観形成の目標に適合しているか。</p> <p>・地域の景観の優れた特徴を乱していないか。</p> <p>・親しまれている眺望を妨げていないか。</p>	①位置	/	遠景からは計画建物を見通せません。
			②規模	/	遠景からは計画建物を見通せません。
			③カライン	/	遠景からは計画建物を見通せません。
中景	<p>●建物の周辺の状況がわかる距離</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">主要部位を評価</p> <p>(目安 100~500m程度)</p>	<p>●中景観と調和しているか(周辺景観とのバランス)。</p> <p>・周辺の優れた景観特性を乱していないか。</p> <p>・過剰に目立っていたり、雑然としていたり、周辺に景観阻害感を生じていないか。</p>	①基調色	○	周辺との調和を図るような基調色になっています。
			②おおまかな形状	○	過剰には目立っておらず、周辺と調和させています。
			③主要な付属物 (屋上設備 屋上階段 ベランダ等)	○	外壁と調和する色彩としています。
			④特殊な材料 (金属やミラなど)	○	過剰には目立っておらず、周辺と調和させています。
近景	<p>●隣接する建物との関係や通りの雰囲気がわかる距離</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">ディテールを評価</p> <p>(目安 50m程度)</p>	<p>●小景観と調和しているか(通りの雰囲気と建物のデザインとの関係)。</p> <p>・通りの雰囲気を悪い方向に乱していないか。</p> <p>・商店街や住宅地といった通りの性格や将来計画に照らし合わせて適当なデザインか。</p> <p>・建物の立つ場所の特性(交差点に面するなど)に配慮しているか。</p>	①壁面意匠 (ファード意匠 側面の仕上げ 壁面設備)	○	過度なデザインを行わず、シンプルで周辺に調和するデザインとしています。
			②看板類	○	屋外広告物条例に適合するものとし、周辺景観と調和させています。
			③アクセントカラー	○	アクセントカラーは各面20分の1以下の範囲としています。
			④低層部の雰囲気	○	過度なデザインを行わず、シンプルで周辺に調和するデザインとしています。
			⑤敷地利用 (緑化など)	○	メイン入口までのアプローチ部分に植栽を設け、景観に配慮しました。
地点	<p>●周辺の公共空間(前面道路の歩道など)との関係がわかる距離</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">道路際の造作を評価</p> <p>(目安 10m前後)</p>	<p>●前面の公共空間と調和しているか(道路際の雰囲気)。</p> <p>・道路敷が雑然としていないか。</p> <p>・地区固有の行事などに支障はないか。</p> <p>・前後の歩道の雰囲気を乱していないか。</p> <p>・その他、圧迫感や歩きにくさを感じさせるようなところがないか。</p>	①低層部のディテール・意匠・材料・構造	○	道路や園路からセットバックさせ、道路際が整然となるように配慮しています。
			②敷地のデザイン (敷地の舗装 緑化状況 駐車場の見えなど)	○	圧迫感がないように法面で計画し、植栽帯とすることで、周辺との調和を図っています。